

ビジネスマナーの基本

ビジネスマンにとって、知っておかなければならないマナーは多い。けれども、基本的には一般常識を守ることが大切なのであって、ビジネスマンにだけ通用するマナーがあるわけではない。マナーを守る目的は相手に不快感を与えないこと、そして相手に信頼感を持ってもらうことである。これはどこの国でも、そしてだれでも同じだろう。といっても、国が違えば常識も違う。日本のビジネス社会で当然守らなければならない基本的なことは次の3つである。

1. きちんとあいさつができる

単に「おはよう」とか「失礼します」というようなあいさつができるというだけではなく、色々な人にその場面にあった声かけられるということである。たとえば、人の前にあるものを手を伸ばして取るときに「前を失礼します。」と言えば、だまって取るよりずっと気分がいい。

2. 清潔で品がある服装をする

服装からどんな人が判断されることが多いので、清潔で人にいやな感じを与えない服装をするように十分気をつけたほうがいい。

3. 正しい言葉づかいができる

ビジネス社会では、言葉づかい、特に敬語がきちんと使える人は、教養があり、常識もある人間として認められる。